

そう だい
総 題 「約束—神の永遠の契約」

だいじゅうさん か
第 1 3 課
あた けいやく じんせい
新しい契約の人生

ひらもと あきら
平本 光

いち あんそくにちごご こんしゅう
1. 安息日午後：今週のテーマ

こんき けいやく まな かみ にんげん つみ すく ほうほう くる けいやく あた
今期は契約について学びましたが、それは神が人間を罪から救うための方法であり、苦しめるために契約は与
えられていないということです。

あた けいやく かみ にんげん すく
新しい契約とは神が人間を救われるということです。

けいやく じゅんぱん いま あた かわる おな
この契約のための順番は、今までになかった新しいものではなく、変わることなく同じものです。

いち かみ ひと すく (1) 神がまず人を救われる。 (2) それから守るべき律法を神はお与えになる。

これはイエス・キリストの人々とのかわりについても同じです。

つみ やまい くる ひと ちか すく
イエスは罪や病で苦しんでいる人に近づいていって、まず救われました。

つぎ わたし したが い
そして次に「私に従ってきなさい」と言われたのです。

じゅんぱん おな
この順番はいつも同じなのです。

あくまでも せいしよ けいやく かみ ひと すく おも そうししゃ かみ
あくまでも聖書の契約とは神が人を救いたいという思いであり、創始者は神です。

あんそくにちがっこうせいしよ ふくどくほんじゅうろくページ すく しゅ く じじつ いまいちどあき
安息日学校聖書ガイドの副読本 1 6 頁には、「救いは主から来る」という事実が、今一度明らかにされて
います。

ひと こうふく かみ そつせん きゅうさい ほうほう しめ
人の幸福のために、神が率先して救済の方法を示しています」とあります。

けいやく ひと すく かみ おも ぐたいてき ひょうげん
契約とは、人を救いたいという神の思いが具体的に表現されているということです。

にんげん う あたい もの かみ じあい にんげん て き の つづ
人間はそれを受けるに値しない者ですが、神はその慈愛により、人間に手を差し伸べ続けています。

けいやく なか さいご あたら てん あたら ち えいえん かみ とも い やくそく
この契約の中で最後には新しい天と新しい地で永遠に神と共に生きる約束があります。

けいやく う い ひと かみ いま せいかつ なか たの おし
しかし、契約を受け入れる人に神は「今」の生活の中で楽しむことができることを教えています。

に にちようび よろこ
2. 日曜日：喜び

でし か だいいち てがみいっしょうよんせつ とお かみ しん したが ひと かみ あた
イエスの弟子であったヨハネの書いたヨハネの第一の手紙 1 章 4 節を通して、神を信じて従う人に神が与
えられる特権として「喜び」に満たされて生きていけることを教えています。

いっしょ せいかつ けいけん よろこ い
ヨハネがイエスと一緒に生活して経験したことによって、喜んで生きていくことができたように、今を生きる

わたし おな とお あんしん い よろこ み かんけい はい
私たちも、ヨハネと同じようにイエスを通して、安心して生きていける喜びご満ちた関係に入れます。

さん げつようび つみいしき かいほう
3. 月曜日：罪意識からの解放

イエス・キリストとイエスの十字架で流された血、契約の血によって「従って、今や、キリスト・イエスに結ばれている者は、罪に定められることはありません」(ローマ8：1)とあるように、私たちが罪に定める者はいません。

私たちが罪に定めようとサタンが攻めてきても、イエスがされたように私たちも聖書のみ言葉で戦うことができるからです。

聖書全体が救済を証言し、また救済とは何かということについて明らかにしています。

この救済は、イエス・キリストのみ業に根拠を置く救いであり、イエス・キリストによって完成される救いです。

よん かようび あたら けいやく あたら こころ
4. 火曜日：新しい契約と新しい心

新しい契約は、目で見て確認する石や紙に書き出されたものではなく、主なる神が私たちの心に記されるものです。

副読本 1 1 3 頁では「キリストを信じる者の心の中に、キリストの命と臨在(神がそこに存在すること)となって生じるもの」とあります。

ここで言っている「心」とは私たちがどのように考えて生きるのか、何を目的としているかを表すものです。

イエスが人の心に住まれる方法が信仰です。(エフェ3：1 7-19)

私たちは、新しい思い、新しいのぞみ、新しい目標を持つ新しい人になれます。

キリストを信じる生き方が大切です。

ご すいようび あたら けいやく えいえん いのち
5. 水曜日：新しい契約と永遠の命

キリストを信じる者はキリストの導きにあずかり、キリストが心の中に生きて働いている人は「永遠に生きる」ものになっています。

自分の全ての面をキリストに明け渡していたら、今すでに永遠の命に生きているのです。

そして、将来の再臨という観点で体の復活があります。

今の与えられている救いは、今、信じている人のものです。人はみんな死を経験します。

しかし、イエスを信じる者には、この死は一時的な眠りで、命の復活によって目覚めるまでのものです。

永遠の命を受け入れることで今の人生を豊かにできるのです。

ろく もくようび あたら けいやく せんきょう
6. 木曜日：新しい契約と宣教

新しい契約にクリスチャンが向き合うべき問題は宣教です。

永遠の命を持つことができるようにイエスが十字架にかかり、全ての人の罪のために死によって罪をゆるされ、復活を通して信じる者が永遠の命をもって復活することを示されたことを知っているものとして、知らなくて

失望しつぼうの中なかで生きていいる人ひとに伝つたえていくことが大切たいせつです。

7. 金曜日きんようび：さらなる研究けんきゅう

そして、キリストがすべての人ひとのために死しんだのは、生きていいる者ものがもはや自分じぶんのためにはなく、自分じぶんのために死しんでよみがえった方かたのために生きるためです。(Ⅱコリント5:15)

主なる神しゆの約束やくそくは、キリストがいつも一緒いっしょにいてくださるといふ契約けいやくです。

私わたしたちの心こころに住すまう、生きて働いくイエス・キリストがいつもそば近くちかにいてくださるといふ約束やくそくを覚え続けおぼるとき、現在げんざいをかえる確たしかな証しょうこ拠あたを与える大切たいせつな言葉ことばです。